

NEW

水道水用オゾンミキサー

動物病院・ペットショップモデル



オゾン量 : 300mg/h
オゾン濃度 : 0.1 ~ 0.4ppm
(水温により変化します)
使用範囲水量 : 4L ~ 12L
使用方法 : 水道直結型・本体壁掛け式

主な特徴

オゾン濃度可変ボリューム付
(50mg/h ~ 300mg/h調整可能)
本体より1.6mのシャワーホース付ノズル
独自のミキシング方式で温水にでも
オゾン効果を維持させることに成功!
温水でも使用を可能にしました。

ペットのトリミング時に使用。

洗い上がり違い、毛のつや・サラサラ感が通常のシャンプーとは明らかに違う。
スタッフの手荒れが軽減され、特に女性のスタッフには違いが感じて頂ける。

日常においての使用

通常の手洗いに使用(オゾンによる殺菌効果)・布類・雑巾などの洗浄・ステンレス器具の洗浄にも十分に活用できる。

傷・治療用で使用。

傷口などの洗浄には水道圧と水道水と同量の水量が出るので、傷口に直接かけ洗浄するところにより、傷口の砂・ごみも洗い流せ、消毒・オゾンの効果(筋肉の活性化)で、傷口の改善が促進される。
歯石除去時の細菌の拡散防止・歯周炎などに対しオゾン気泡水で洗浄することにより、炎症の軽減・治癒促進効果期待できる

手術などでの使用

通常多く使用されている殺菌水・強酸性水などは殺菌力はあるが、時間的コスト的な面と使用後のぬるぬる感があり違和感がある。オゾン気泡水はわずかな電気のみなのでコストもやすく、蛇口をひねるだけなので簡単にすぐ使用でき殺菌効果もある。
ステンレス製器具の消毒・洗浄が簡単に行えるので便利である。

従来のオゾン殺菌装置と当社の装置の違い

オゾン水殺菌法

製造するには高濃度オゾンを使用しなくてはならない。

オゾンの溶解は40℃だととても効率が悪く高濃度オゾンが必要で取り扱いが非常に危険である。

既存の配管・装置などへのオゾンによる影響(配管・既存装置の対オゾン性の問題)がある恐れが考えられる。

当社オゾン気泡水殺菌法

オゾン水を製造しないので、高濃度オゾンは使用しなく良い。

オゾンの溶解は40℃では効率は悪いが、オゾン温水に溶解しないので(気泡を発生させるのには温度は問題ではない。)低濃度のオゾンで効率の良い安全な方法だといえます。

既存の配管・装置への影響を考え、当社の装置内で処理し、影響がない様に考慮して設計しております。

オゾン気泡水を導入することにより、今まで各家庭でペットにシャンプーなどしていたのが、トリミング料金を支払ってでもやってもらいたいと今まで以上にこられるオーナーも増えるとおもわれます。動物病院では抗生剤などのクスリを嫌がる・避けたい場合に利用価値がある、かつ通院が必要となり再来院率アップにもつながると考えられます。